

「日本語を母語としない子どもと保護者の高校進学ガイダンス 2016」 を開催しました。

日本語を母語としない子ども達にとって、日本語による試験を経て入学する高校は、その後の人生を考える上で非常に高い壁となっている現実があります。そのような外国にルーツを持つ子どもたちの高校進学を支援するため、今年度も高校進学ガイダンスを開催しました。

会場には、中国・フィリピン・ペルーなど13カ国の子どもや保護者ら117人が集まり、熱心に自分の行きたい高校についての情報収集や、受験資格についての相談をしていました。

また、ガイダンス当日は、参加者がスムーズに相談できるよう、19人の通訳スタッフと9人の日本語支援者等運営スタッフが、ボランティアとしてガイダンスを支えてくださいました。

ガイダンスで配布した資料（6言語、各3種類）は、当協会ホームページに掲載していますので、学校や地域の日本語教室等で是非ご活用ください。相談窓口など、関係機関の問合せ先も記載しています。

■ 実施日：平成28年8月6日(土) 13:30～16:30

■ 会 場：ソニックシティビル 4階市民ホール（JR大宮駅西口）

■ スケジュール：

時間	内容	担当
【オリエンテーション】		司会（県国際交流協会）
13:30～13:40	開会あいさつ	埼玉県国際交流協会 局長 加藤 哲之
13:40～14:00	高校進学について	県教育局高校教育指導課 新井 敏彦 指導主事
14:00～14:20	高校に進学した先輩 の体験談	ファウスト・ダニエル ヤスゲ・ケネット・ジョン (県立南稜高校、フィリピン出身) 晩 真由美 (県立狭山緑陽高校、ペルー出身)
14:20～14:30	相談コーナーの御案内	司会（県国際交流協会）
【相談コーナー】		
14:30～16:30	相談ブースでの個別相談	

■ 主 催：埼玉県国際課、(公財) 埼玉県国際交流協会、(公財) 埼玉県産業文化センター

■ 後 援：埼玉県教育委員会、さいたま市教育委員会

■ 参加費：無料

■ 参加者：117人

<内訳>

○児童生徒 52人

(中学生、小学生、母国で中学校を卒業してから日本に来た人など。親だけが来たケースも含む。)

出身国 中国、フィリピン、ペルー、アメリカ、タイ、ネパール、
イラン、インド、インドネシア、韓国、パキスタン、ブラジル、
ベトナム (日本を除いて13か国)

○保護者などの随行者 56人

○その他の参加者(学校の教員など) 9人

■ スタッフ：47人 ※国際課と協会を除く

<内訳> 運営スタッフ 9人

通訳 19人(県教育局国際交流員2人含む)

高校生 4人(体験談発表者3人、高校生ブースのみ参加1人)

高校の教職員 9人

県教育局高校教育指導課 1人

県教育局県立学校人事課 1人(資格認定の説明)

県教育局財務課 2人(奨学金の説明)

県教育局義務教育指導課 1人

県教育局義務教育指導課帰国児童生徒等支援アドバイザー 1人

■ 会場の様子



会場全体の様子



教育局新井先生による説明



高校生による体験談発表



総合相談ブース



小中学校の教育相談ブース



高校生活相談ブース



資格認定相談ブース



奨学金相談ブース



日本語教室紹介ブース



高校ブース（川口県陽高校）



高校ブース（草加南高校）



高校ブース（和光国際高校）